

平成 30 年度 音楽Ⅲ シラバス

単位数	2 単位	教科担当	西田 都
学年	第 3 学年		
使用教科書	音楽Ⅲ 教育出版社		

1 教科の目標

- ・音楽の諸活動を通して生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな音楽の能力を高める。

2 育てたい生徒像

「音楽Ⅲ」では、生涯にわたり音楽を愛好し、音楽Ⅰ，Ⅱで理解を深めた音楽文化について、更に次の段階である生涯にわたり音楽文化を尊重する心を育てたい。また、目標の最終的到達点として、表現・鑑賞を包括する能力として「個性豊かな音楽の能力」を育てたい。

3 授業の内容と学習方法

- (1) 様々な音素材の表現効果を生かした構成を工夫し、様々な、様式や演奏形態の特徴を理解し、表現意図をもって個性豊かに音楽を作る活動を行う。
- (2) 楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に演奏する活動を行う。
- (3) 楽曲、作曲者の地域・歴史的理解を深める鑑賞の学習を体系的に行う。
- (4) 我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について調査レポートなどにまとめ、プレゼンテーションを行う。

4 評価の観点

観 点	
関心・意欲・態度	自分が表現したい意図を明確にもち、曲種に応じた発声を活かす技能などを応用しながら工夫する。
音楽表現の創意工夫	知覚・感受しながら、表現内容を総合的に理解して音楽表現を工夫し、表現意図をもつ。
音楽表現の技能	音楽表現の多様性を総合的に理解し、表現意図をもって音楽表現するために必要な技能を身に付け、創造的に表している。
鑑賞の能力	音楽と他の芸術や文化とのかかわりを理解して鑑賞する。 生活及び社会における音楽や音楽に関わる人々の役割を理解して鑑賞する。